

「肉用牛ゼミナール 開講式・第1回経営研修会」 開催される

開催日：平成26年7月4日

会場：大分県庁舎新館 14階 大会議室

大分県の肉用牛経営は飼養者の高齢化、飼料費の高止まり等により戸数の減少が進んでいます。この対策として各市町から推薦を受けた30名の若い受講生を対象に「肉用牛ゼミナール」を開講しました。このゼミナールでは大規模経営手法や省力管理等の専門技術の習得、また流通研修や交流会等を通じ経営者としての意識向上を目的としています。



今回は「開講式」の後に「経営研修会」を開催しましたが、開講式では広瀬知事から「激励の言葉」を、県議会から「祝辞」をいただき、ゼミナールに対する期待の大きさをひしひしと感じました。



これに対し、受講生を代表し竹田市久住町の工藤哲也さんが「誓いの言葉」を述べられ、いよいよゼミナールがスタートしました。

午後から「研修会」が開催され、農林水産省の引地講師と「三重カドワキ牧場」の門脇社長の2名の先生に講演をいただきました。

